

# 基盤強化へ向かう 産業界の針路 2025

## 上下両面の社会ニーズに応じた活動を

管路診断コンサルタント協会事務局長 長島 隆幸



新年を迎え、コンサルタント業界唯一の管路改築・修繕コンサルティングに係る専門技術者集団である当協会の一員として、今後の管路マネジメントの方向性を俯瞰しますと、安全・安心が担保された更なる社会生活の確保を前提に、デジタル化に向けた事業の効率化対応、次世代に向けた技術革新・推進に加えて、官民連携での事業運営が浮かんでまいります。

さて、令和7年度の本協会の活動としましては、例年同様に年2回の技術講習会（ショーケース）の開催など、会員の皆様のスキル向上に資する情報発信を継続してまいります。その他、事業体をはじめ様々な団体の方々にご活用いただいております管診鏡（地上から下水道施設内の点検調査）の販売、管路耐震化実施設計における発注業務の積算基準を補完した下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛案の販促活動ならびに令和5年7月末に発足した水道委員会の初回活動案件として作成された水管橋等の点検（調査・診断）に関する設計委託業務標準歩掛及び仕様書の公表など、上下水道事業の社会ニーズに即した活動を鋭意実施してまいります。さらに、ウォーターPPPに備えた下水道管路資産の最適管理に対応する技術資料の作成といった多岐にわたる活動を実施いたします。

今年もぜひ本協会の活動にご注目いただき、84社の協会員をご活用頂きますようお願い申し上げます。